

「ガタピシ」

ふすまや障子しょうじが合わなくなると開け閉めの度にぶつかり合ったりすると「ガタピシ」して直さないと……」なんて思いませんか？

ふすまや障子など建具たてぐすんぼうの寸法が合わないと「ガタガタ」と音が鳴ります。また、強引に開け閉めをして勢いがつきすぎると「ピシッ」と音を立ててしまいます。そんな音を拾って「ガタピシ」という言葉を思い浮かべるかも知れませんが、実は仏教の言葉なのです。

「ガタピシ」を漢字で書いてみましょう。

一文字目の「ガ」は「我われ」と書きます。二文字目の「タ」は他人の「他た」。「ガタ」とは「自分と他人」という意味です。

では、「ピ」と「シ」はいかがでしょう。「ピ」と読む漢字を思い浮かべるとは難しいかも知れませんが、これはお彼岸の「彼ひがん」と書きます。一般的には「ヒ」と読みますが、仏教では「ピ」とも読みます。そして四文字目の「シ」は、「彼ひ」とは逆の意味の「此これ」と書きます。「ピシ」とは、「あちらとこちら」という意味です。

つまり、「我他彼此がたびし」とは、自分と他人を分け隔て、あちらとこちらの繋がりを遠のけた心の様子をいうのです。

そのような気持ちで人付き合いをしていくとどうなるでしょう。しょっちゅう他人と衝突し、争い、いがみ合うことになってしまうでしょう。それこそ、他人との意思疎通いしそつうがスムーズに行かずに“ガタガタ”とつかえたり、逆に勢い余って“ピシッ”とぶつかりあい、お互いが大変な思いをするでしょう。

私たちの幸せは、「我他彼此がたびし」をこえた、その先にあります。

他の誰かの喜びを、私のことのように感じて喜び合うこと。他の誰かの辛いつら思いを、私のことのように感じて助け合うこと。協力し、共感きょうかんし、助け合い、手を携たすさえて生きていくこと……。

まずは今日一日、自分の中の「我他彼此がたびし」の心に注意をしながら、他人との関係を考えてみませんか。